



東京園芸ニュース (28年度-30号)

平成28年7月 / 群馬県東京園芸情報センター

初夏の味覚！ ～北橘果樹組合産ブルーベリー試食宣伝会～

北橘果樹組合産ブルーベリー試食宣伝会

- 日時：7月17日(日)
- 会場：ぐんまちゃん家(ぐんま総合情報センター)
- 主催：北橘果樹組合・JA赤城たちばな
- 内容：北橘果樹組合産ブルーベリーの試食及び販売

■ブルーベリー食べ比べ大好評！

北橘果樹組合によるブルーベリーの試食宣伝会が、銀座の「ぐんまちゃん家」で行われました。ブルーベリーの品種は、群馬県育成成品種「おおつぶ星」と酸味が少なく食味の良い「ティフブルー」の他2品種が試食品として提供され、お客さんからは「甘くて美味しい!」、「目に良いんだよね!」と大好評でした。また、普段はできない品種の食べ比べをして「甘い!」、「こっちは酸っぱい!」と食味の違いを楽しんでいました。群馬県マスコットの「ぐんまちゃん」もブルーベリーの宣伝に参加して、盛況にイベントが行われました。

■栽培面積は全国4位！

今年は気候が良く、初出荷は6月下旬で平年に比べると10日程早く収穫が始まりました。当組合では試験も含めて40品種程度を栽培しており、9月上旬まで収穫が行われます。今年の糖度は14度前後で食味は良好とのことでした。群馬県は、平成25年のブルーベリー栽培面積、収穫量ともに全国4位で、渋川市は群馬県で1位の産地です。



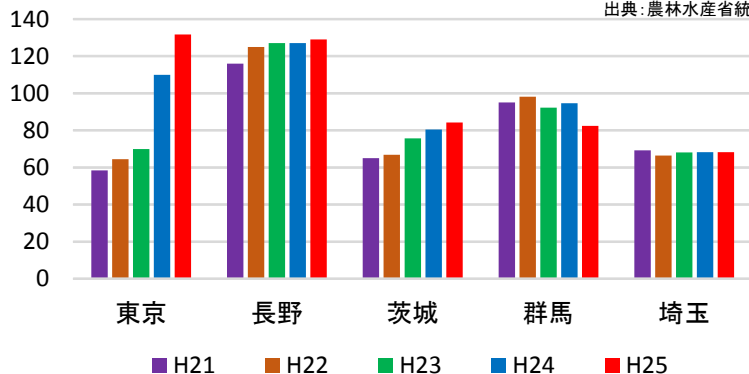
試食宣伝の様子



販売の様子

(ha) ブルーベリー栽培面積の推移(H21～H25)

出典：農林水産省統計



「ぐんまちゃん」も試食宣伝をお手伝い